

第163期 中間株主通信

2024年4月1日 »
2024年9月30日



美濃窯業株式会社
MINO CERAMIC CO.,LTD.

証券コード：5356

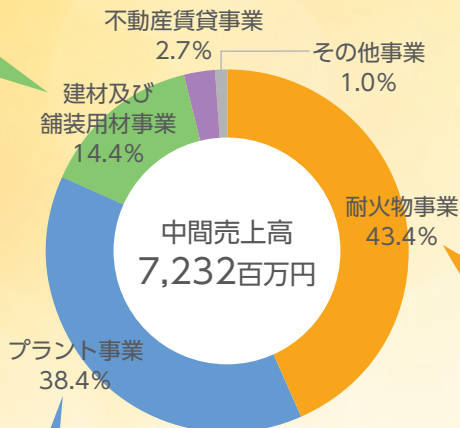
美濃窯業グループの使命

セラミックスを源流に、独自・多様な技術を磨き、社会の発展に貢献する。

一味違う強い特徴を持つ、質の高い企業グループを目指す。

事業紹介

道路用材及び加工製品の
製造・販売・施工



耐火煉瓦、不定形耐火物、
ニューセラミックスの製造・販売



工業炉・自動化設備など、
総合プラントの設計・施工



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第163期中間連結会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに中間期決算の内容につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

太田 滋 俊



事業概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、物価上昇の影響により個人消費に弱さが見られるものの、コロナ禍後の社会経済活動の正常化に伴うサービス需要やインバウンド需要の回復を背景に、緩やかな回復基調にあります。一方、世界経済に関しては、米国の失業率上昇に伴う米国経済の先行き懸念、中国の不動産不況に伴う中国経済の減速懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、セメント業界向けを中心とする耐火物事業においては、セメントの国内生産量の減少傾向が続く厳しい状況の中、新規取引先の開拓や生産性向上への積極的な取り組みにより、売上高、利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

プラント事業においては、工事部門が順調に推移したことに加え、設備部門においても、半導体関連需要の回復を受け

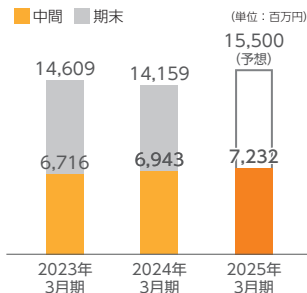
て顧客の設備投資が堅調に推移したことから、売上高及び利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

建材及び舗装用材事業においては、売上高は微増となりましたが利益面ではコストの増加を吸収できず、前年同期を下回る結果となりました。

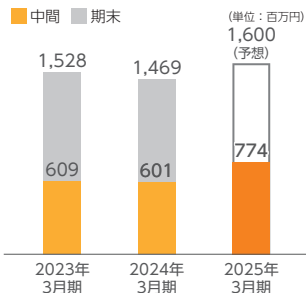
不動産賃貸事業においては、賃料値上げの効果もあり売上高、利益ともに前年同期を上回る結果となり、安定的収益の確保に貢献いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における経営成績は、売上高7,232百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益717百万円（前年同期比32.6%増）、経常利益774百万円（前年同期比28.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益531百万円（前年同期比29.4%増）となりました。

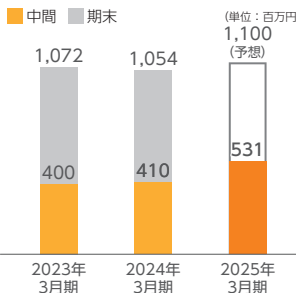
売上高



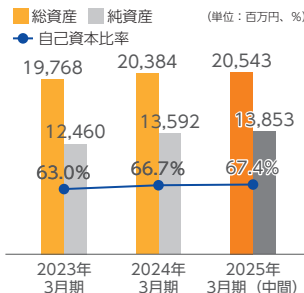
経常利益



親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益

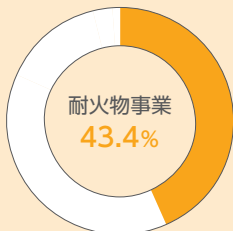


総資産／純資産／自己資本比率

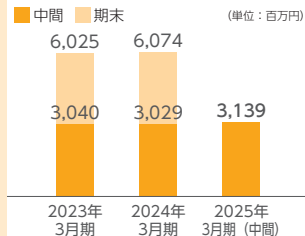


セグメント別の概況

構成比



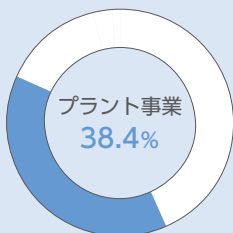
売上高



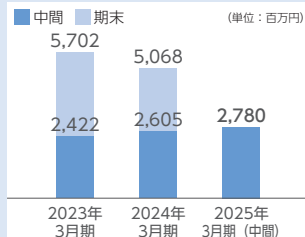
耐火物需要は低迷するも、新規取引先の開拓及び生産性向上が寄与

耐火物事業につきましては、当中間連結会計期間の売上高は3,139百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は200百万円（前年同期比98.0%増）となりました。

構成比



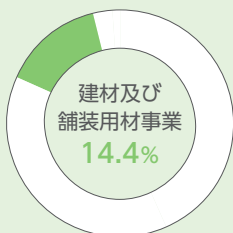
売上高



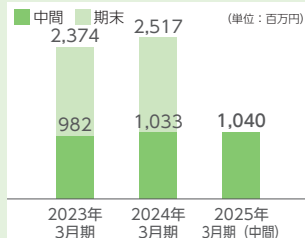
工事部門が順調に推移 設備部門も半導体関連需要が回復

プラント事業につきましては、当中間連結会計期間の売上高は2,780百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は388百万円（前年同期比38.7%増）となりました。

構成比



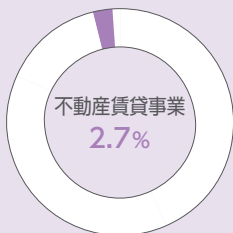
売上高



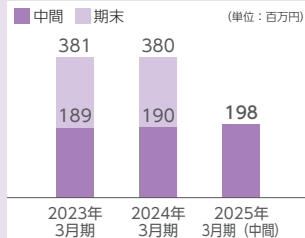
鉄道各社向けの売上が好調 コストの増加を吸収できず減益

建材及び舗装用材事業につきましては、当中間連結会計期間の売上高は1,040百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益は33百万円（前年同期比28.6%減）となりました。

構成比



売上高



安定した不動産収入

不動産賃貸事業につきましては、当中間連結会計期間の売上高は198百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は94百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

※その他事業につきましては、売上高は73百万円（前年同期比11.6%減）、セグメント利益は11百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

IRイベントに出展

2024年8月23日・24日に開催された「日経IR・個人投資家フェア2024」及び2024年9月6日・7日に開催された「名証IRエキスポ2024」に出展いたしました。

「日経IR・個人投資家フェア」には、今年3月の東証スタンダード市場への上場を機に、初めて出展いたしました。一方、「名証IRエキスポ」には、今回で4回目の出展となります。

「日経IR・個人投資家フェア2024」では約360名、「名証IRエキスポ2024」では約540名の株主・投資家の皆様が当社ブースに来訪され、事業内容や業績、株主還元等について熱心に説明を聞かれていました。

また、「名証IRエキスポ2024」で実施したアンケートでは、「当社をご存知ですか？」という質問に対し、「知っている」と回答した方の割合が、昨年より15%増加しており、毎年のIRイベントを通じて、当社の知名度が着実に向上していることを実感しております。

今後もIRイベントへの参加等を通じて、更なる知名度向上と株主・投資家の皆様への情報提供に努めて参ります。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



日経IR・個人投資家フェア2024

イベントでよく聞かれたご質問について

①東証スタンダード市場へ上場した理由

A.全国的な知名度や社会的信用度を向上させ、新規顧客の開拓や優秀な人材の確保につなげるためです。また、株式の流動性ととも株価上昇が期待でき、株主の皆様及び持株会制度を利用している当社社員にもメリットがあると考えたためです。

②「次世代省エネルギー型工業炉」の販売について

A.昨年8月にプレスリリースした「次世代省エネルギー型工業炉」について、現在は実証段階であり、2025年度中の販売を目指しております。



会社概要

会社名	美濃窯業株式会社 MINO CERAMIC CO.,LTD.
設立	1918（大正7）年8月14日
資本金	8億7,700万円
従業員数	連結339名（単体271名）
事業内容	耐火物及び耐火材料の製造販売 工業窯炉及び付帯品の設計 製作・施工・販売 熱処理・自動化プラントの設計・建設 建築材料及び舗装材の製造・施工・販売 工業用セラミックス製品の製造販売
本社	本社：岐阜県瑞浪市寺河戸町719番地 本社事務所：愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目17番28号
グループ会社	美州興産株式会社 岩佐機械工業株式会社

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 剰余金の配当の基準日	毎年6月（議決権の基準日 毎年3月31日） 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。

美濃窯業株式会社

（お問い合わせ先）
愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目17番28号
052-551-9221

役員

代表取締役社長	太田 滋 俊
取締役専務執行役員	中島 正 也
取締役常務執行役員	長谷川 郁 夫
取締役常務執行役員	石川 豊
社外取締役	大島 崇 文
社外取締役	佐藤 誠
取締役監査等委員	山田 俊彦
社外取締役監査等委員	澁谷 英司
社外取締役監査等委員	小林 宏 明

株式の状況

発行可能株式総数	31,960,000株
発行済株式の総数	12,909,828株 （自己株式2,273,689株を除く）
単元株式数	100株
株主数	2,518名

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

公告の方法 電子公告（当社ホームページに掲載）

ホームページアドレス
<https://www.mino-ceramic.co.jp/>

※ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

